



コメツガ [米母]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 マツ科ツガ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

先端が丸くへこんだ細かい葉が生え揃うのがコメツガの特徴。葉は、ツガに比べ小さいことからコメツガと呼ばれる。本州～九州の高山に自生する日本固有種。雌雄同株で5月～6月頃花をつけるが風媒花のため目立たない。秋には長さ2～3cmの楕円形をした球果をつける。



Memo

寒さに強く、本州中部の標高1600mを超えるとツガに代わりよく似たコメツガが自生する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花期												
	果実												
	紅葉												
	施肥	(不要)											
剪定													

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強		○	弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○					○	

ポイント

亜高山のやせ地に生育する樹。土壌は選ばないが夏の乾燥は苦手。そのため、都市部のヒートアイランド現象に弱く衰退しやすい。根周りをマルチング材で覆い、夏の暑い時期に充分灌水するとよい。

剪定

生長は比較的遅く、自然に樹形が整う。生長に伴って下枝が透いてくるので必要な高さで芯を止めるとよい。

病虫害

虫害は、カイガラムシ、ミノムシと新芽時期にシンクイムシが発生することがある。

呼べる蝶  キベリタテハ (樹液)